

これからの地域コミュニティ (参加から協働の時代へ)

平成25年8月20日

筑紫地区代表者学習会

地域コミュニティとは？

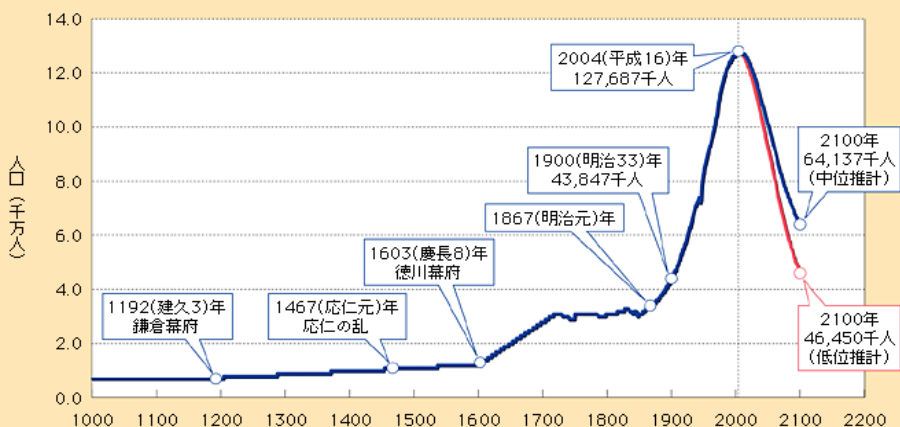
- 一定の区域における、自治会・町内会をはじめとする地縁団体や、まちづくり・子育て・防犯と言った機能団体が
- それぞれの特性を生かしながら、さまざまな地域の課題に取り組み、より安全で安心なまちづくりを目指す地域社会・共同体

今、なぜ地域コミュニティ？

■地域をとりまく現状と課題

- 高度情報化、核家族化、都市化により、地域における人と人とのつながりが希薄化
- 過疎化、少子高齢化の進展により、地域組織の機能が弱体化
- 少子化、高齢化、人口減少により、新たな地域課題が発生

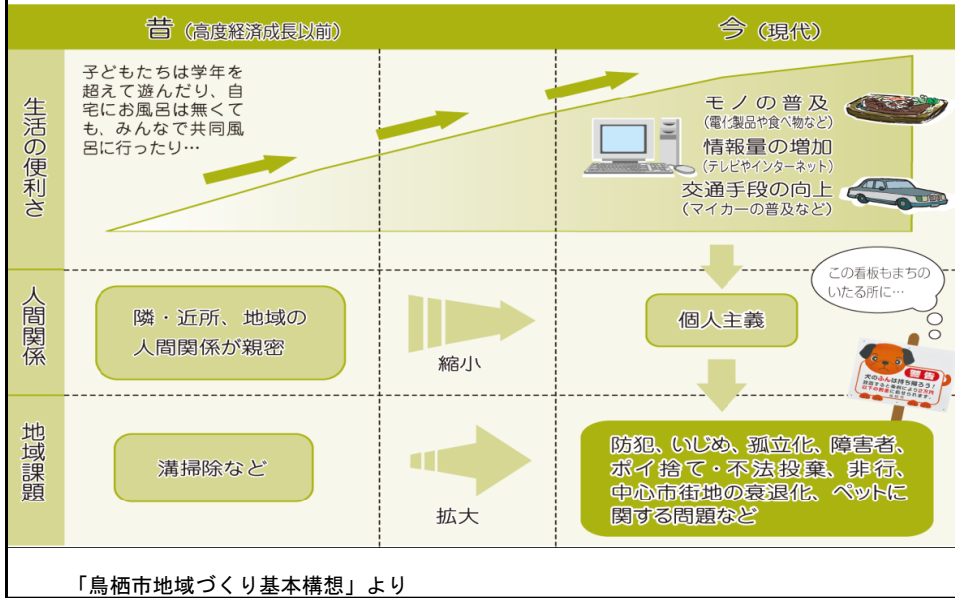
日本の長期的な人口の趨勢



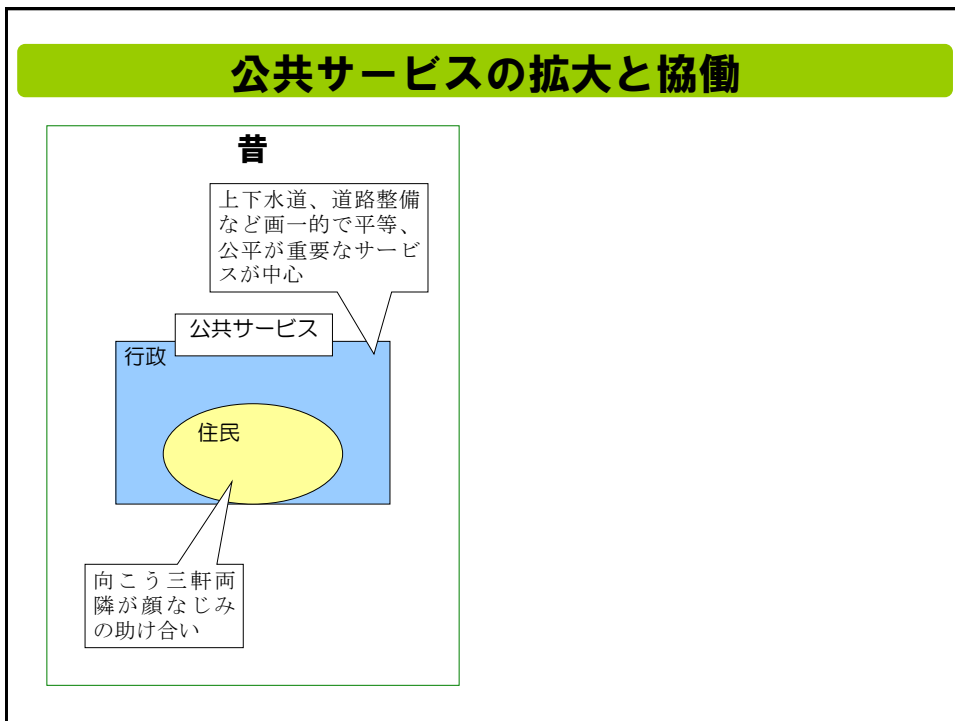
資料：1872年以前は、鬼頭宏「人口から読む日本の歴史」講談社（2000年）、森田優三「人口増加の分析」日本評論社（1944年）による。1872年から2004年までは総務省統計局「国勢調査」、「10月1日現在推計人口」による。2005年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成14年1月推計）」。

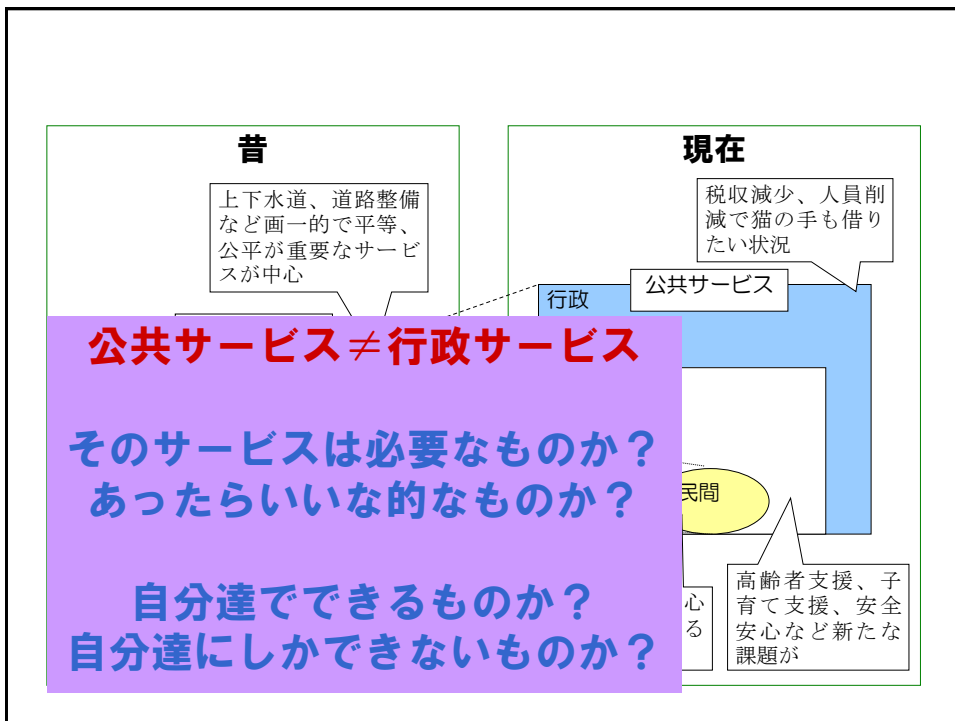
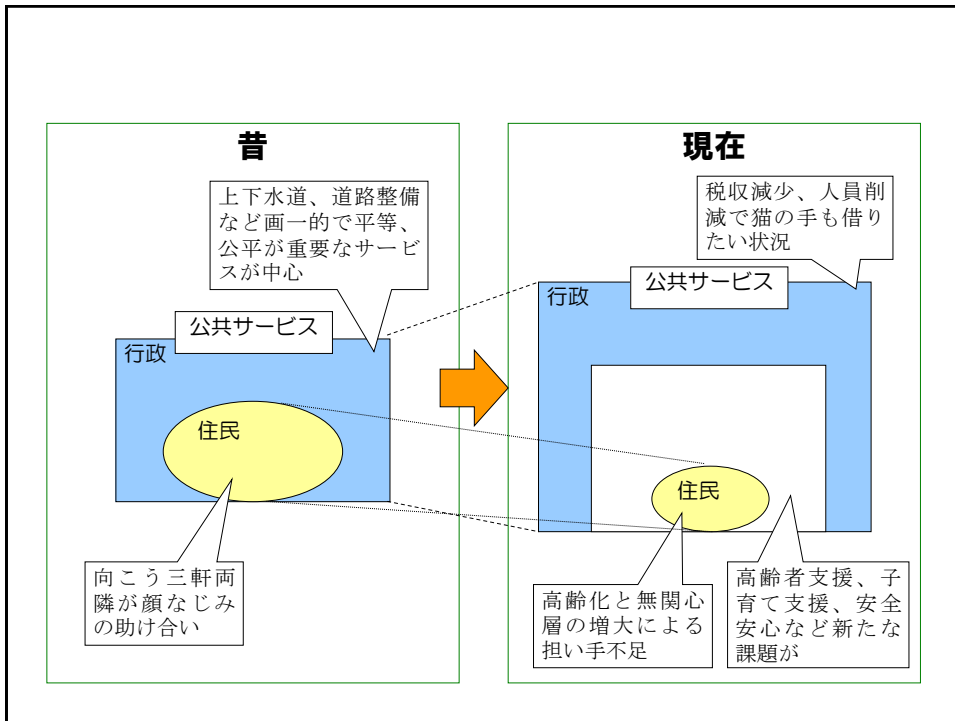
注：推計値のうち、2051年から2100年までは参考推計。

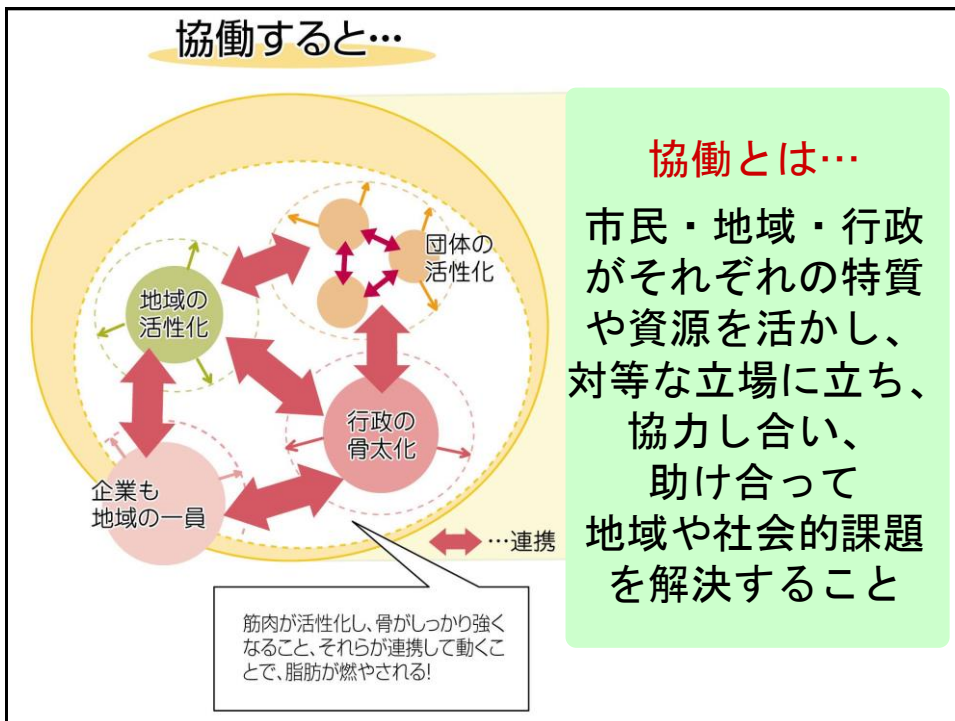
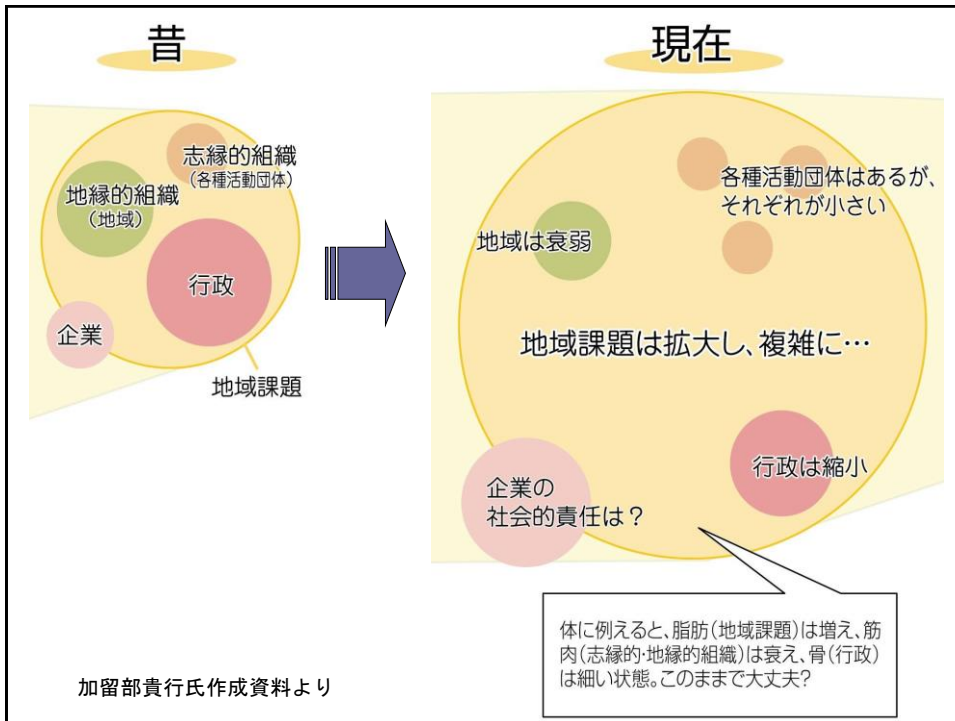
生活は便利に…地域の課題は複雑に



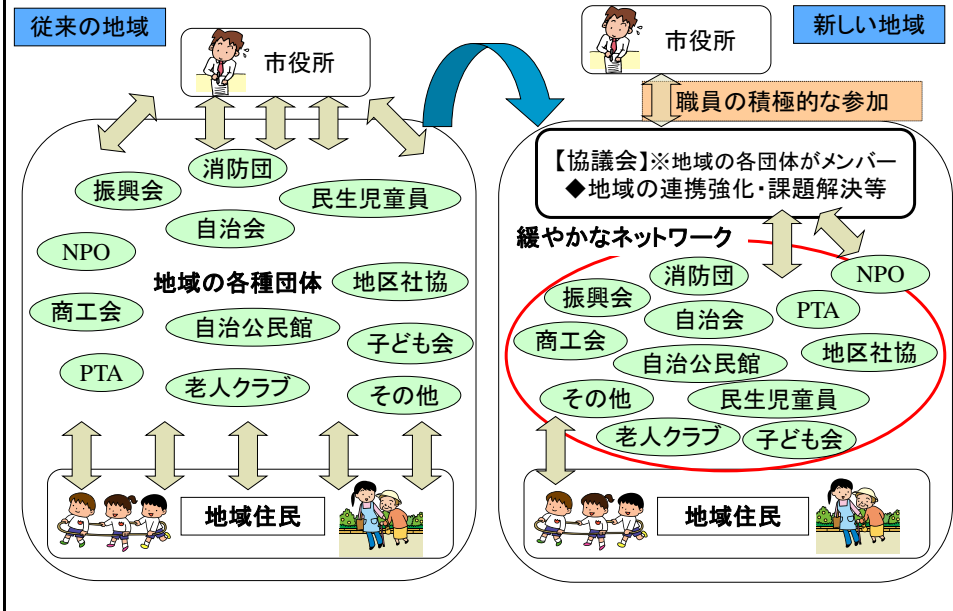
公共サービスの拡大と協働



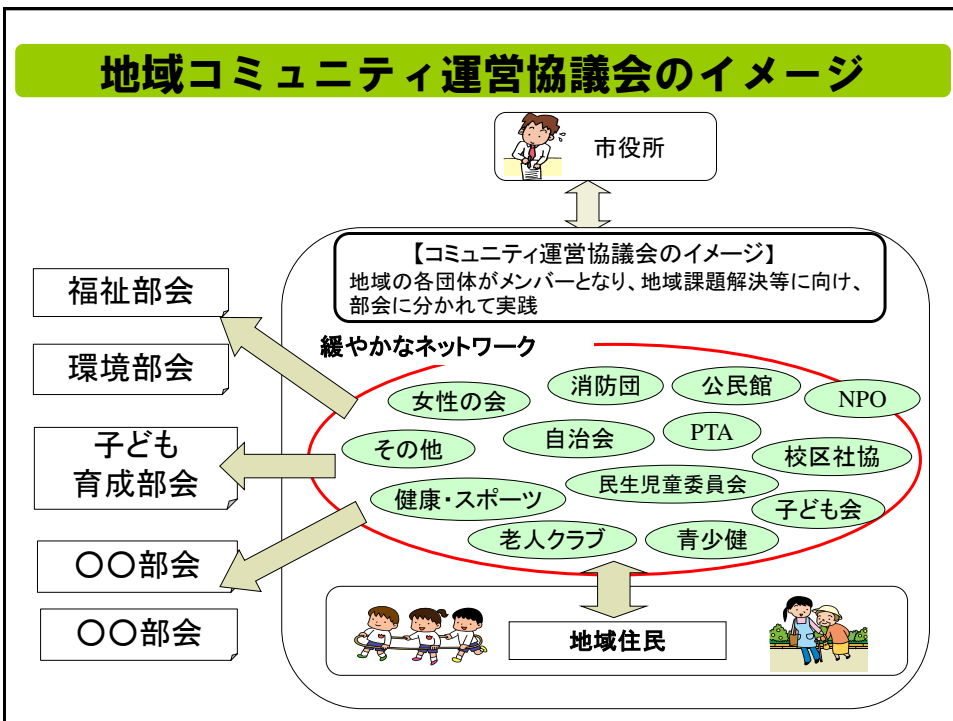




これからの地域コミュニティ

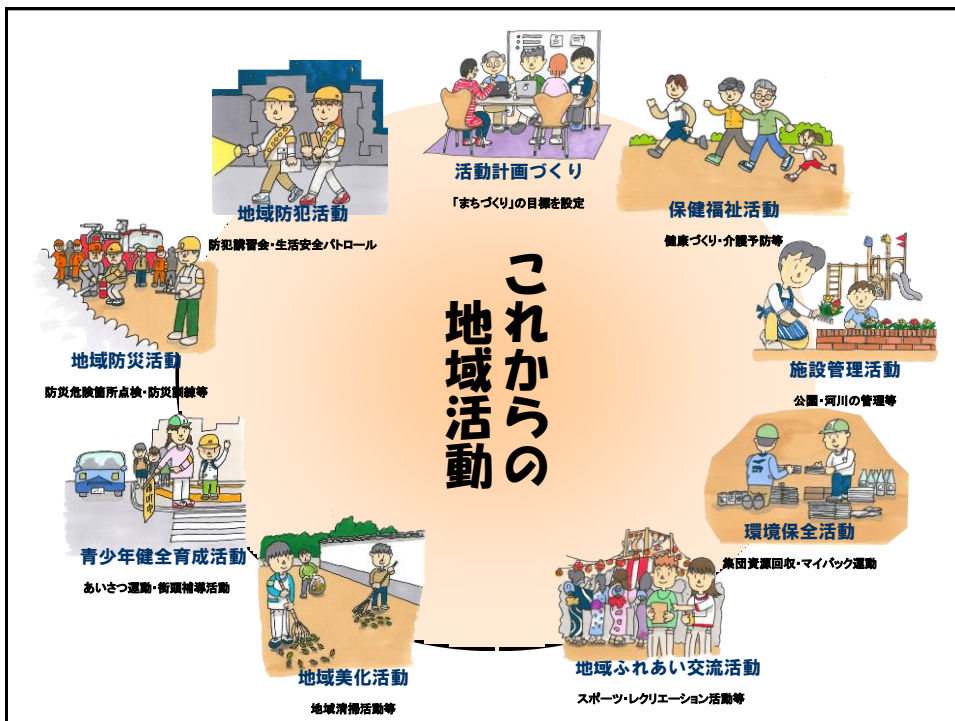
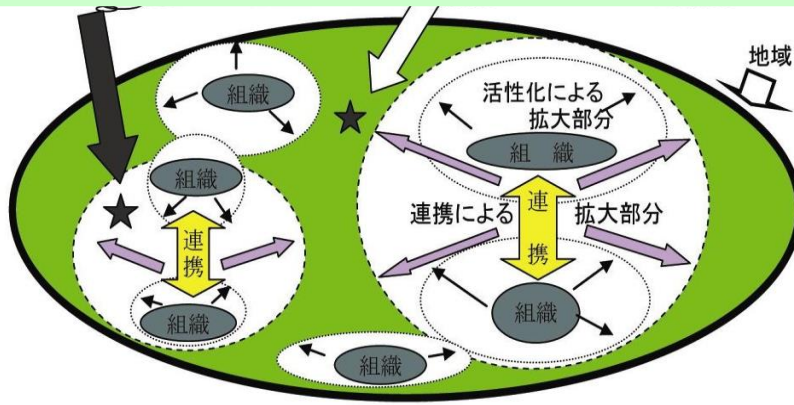


地域コミュニティ運営協議会のイメージ

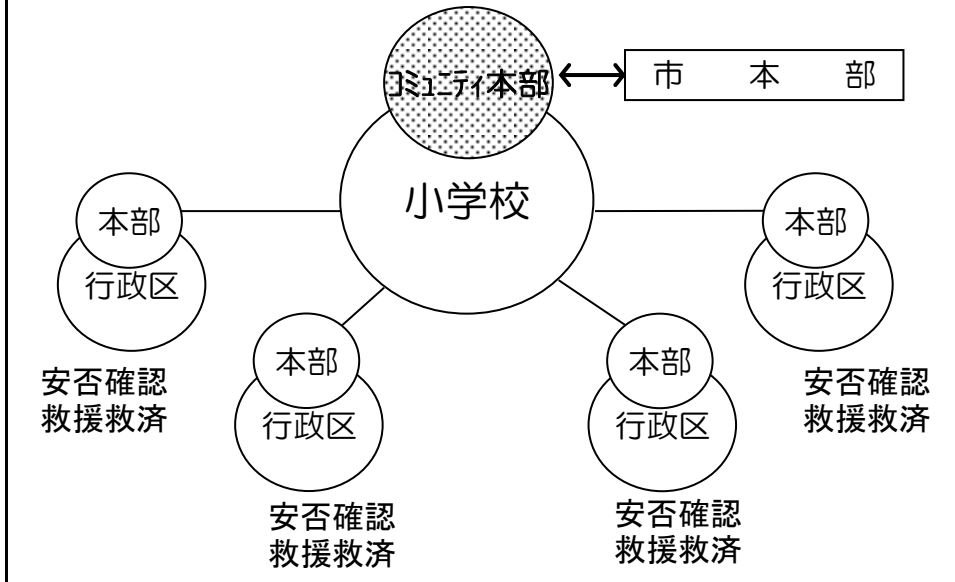


超高齢社会に備え、それぞれの組織が連携し、地域のつながりを強化して、漏れ少なくする

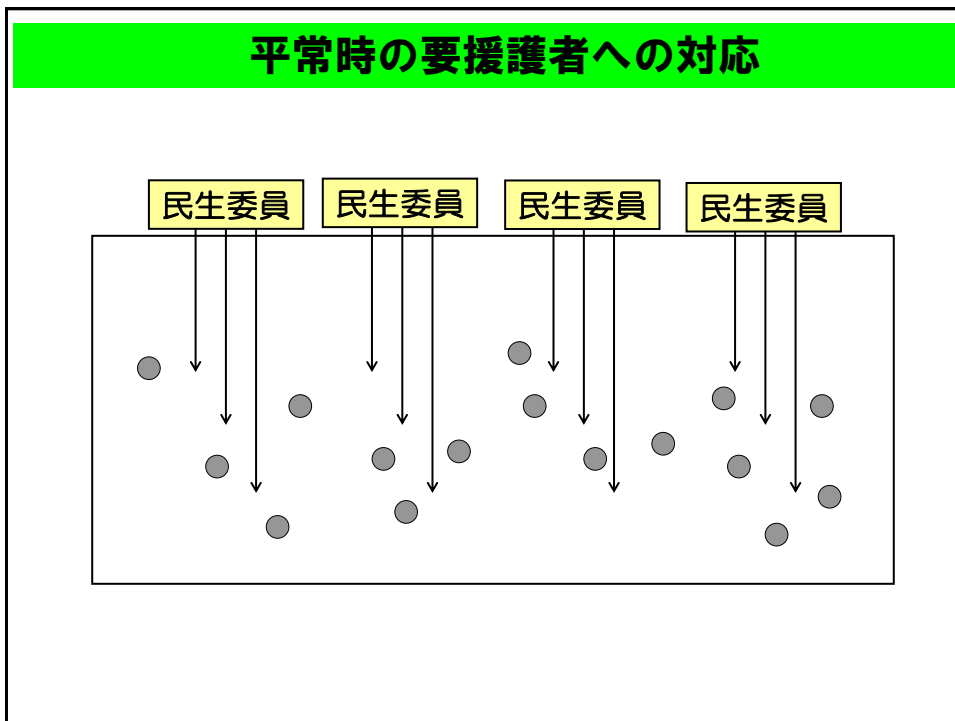
地域コミュニティ



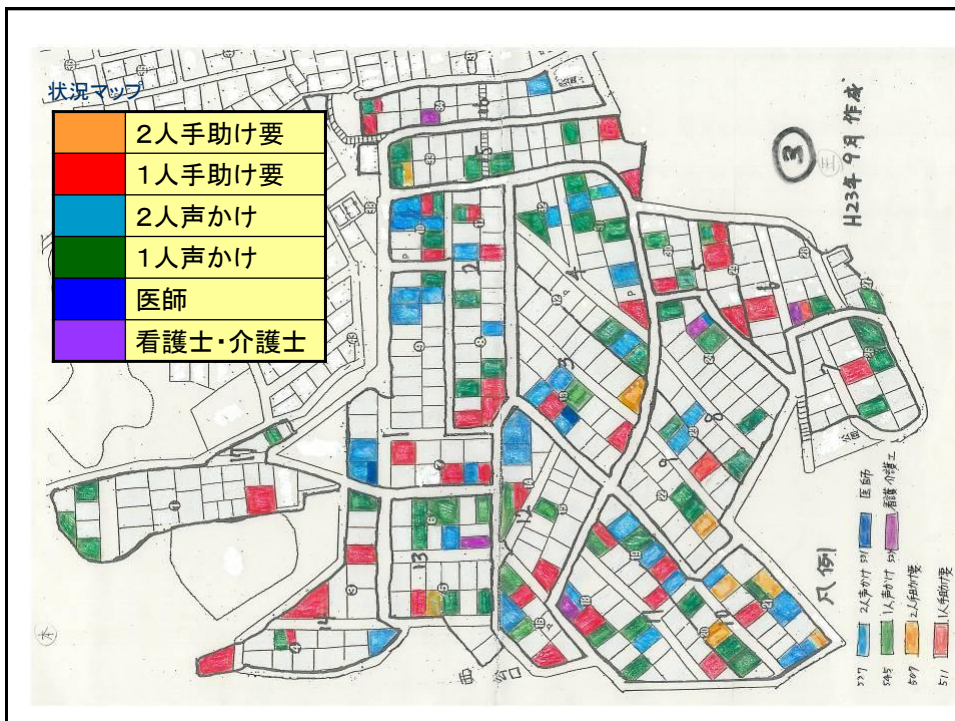
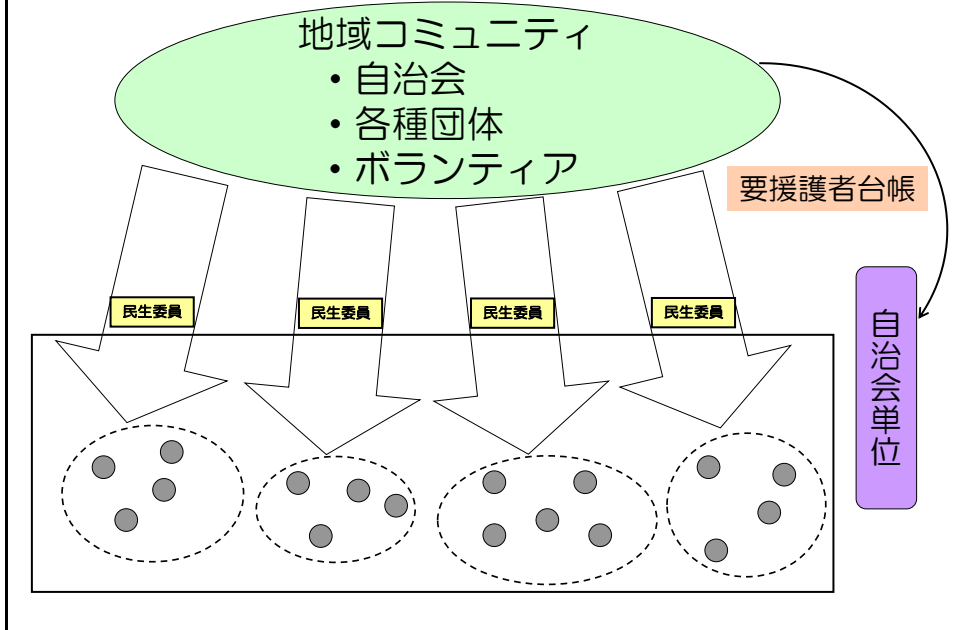
災害時の地域の対応



平常時の要援護者への対応



災害時の要援護者への対応



組
タウエ / リコ
田上 典子 様

緊急時避難誘導に関する件

緊急時における 声かけ担当者は

〇 組 吉川 代子

〒 〇〇

〇 組 棚田

〒

〇 組 松谷

〒

です

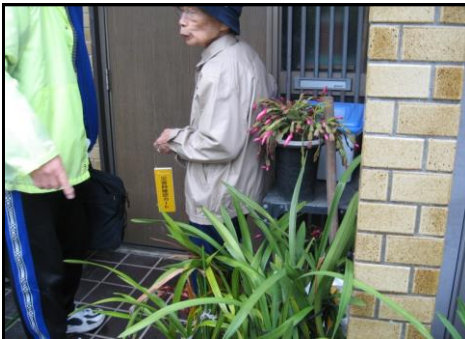
* / (月) ~ / (日)の間に上記の方々が顔合わせに
何う予定ですので、よろしく願います。

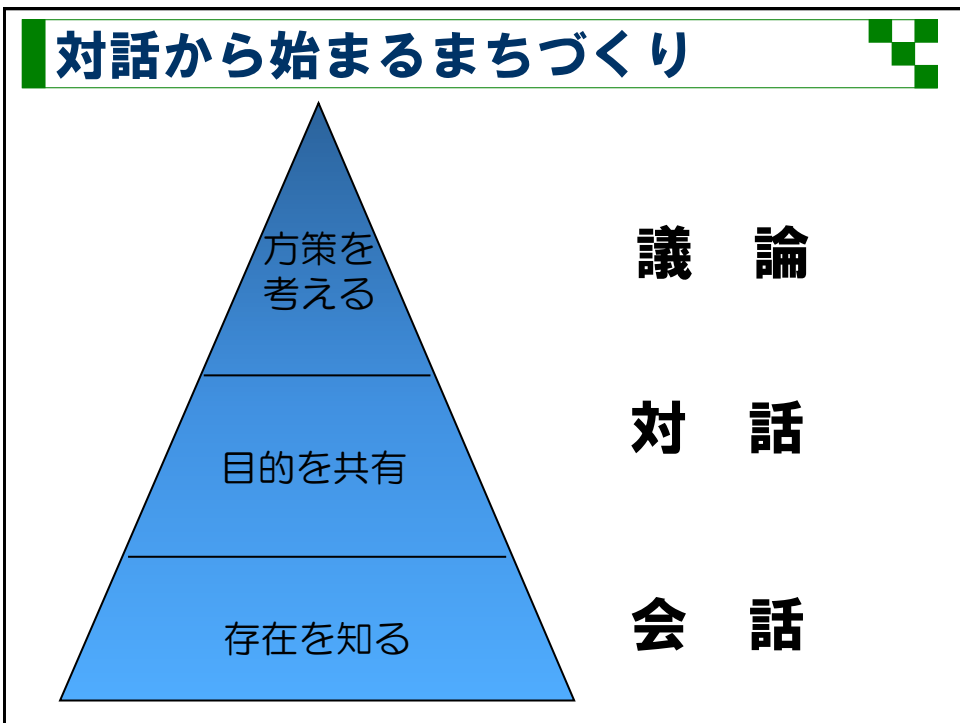
* 避難するとき(訓練時)は、自力脱出した時か、声かけ担当者とも
に脱出した時に門扉(目に付くところ)にカードを提示して出る。

提示することにより脱出したことの確認ができる(避難時・訓練のみ使用)
訓練終了後、カードは自宅内保管すること。

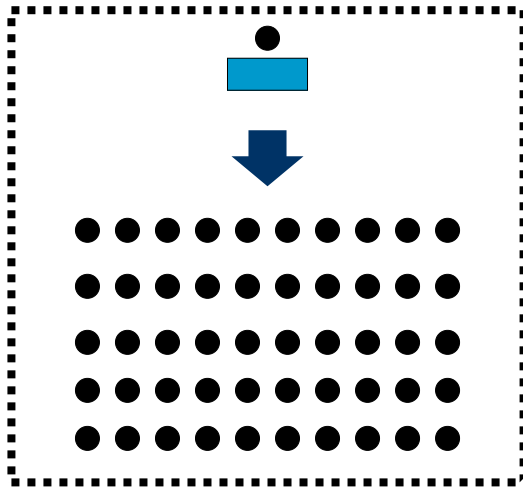
* 確認カード(ピンクカード)を紛失されている場合は組長に連絡してくだ
さい。

弥永3丁目町内会

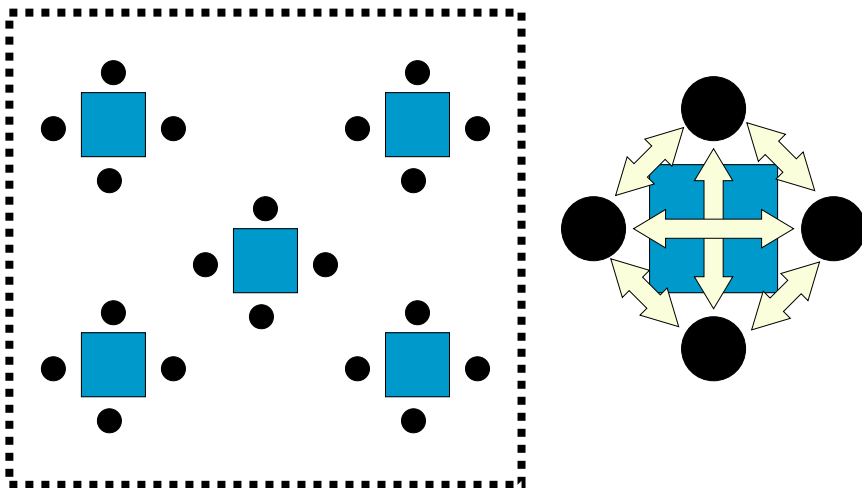




会議：一方通行型コミュニケーション

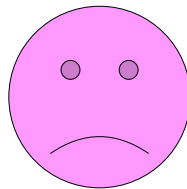


ワークショップ：双方向型コミュニケーション



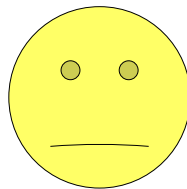


共有



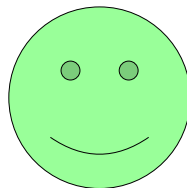
こんなことで
困ってるのよ！

共感



そうそう、私も
そう思った！

共働



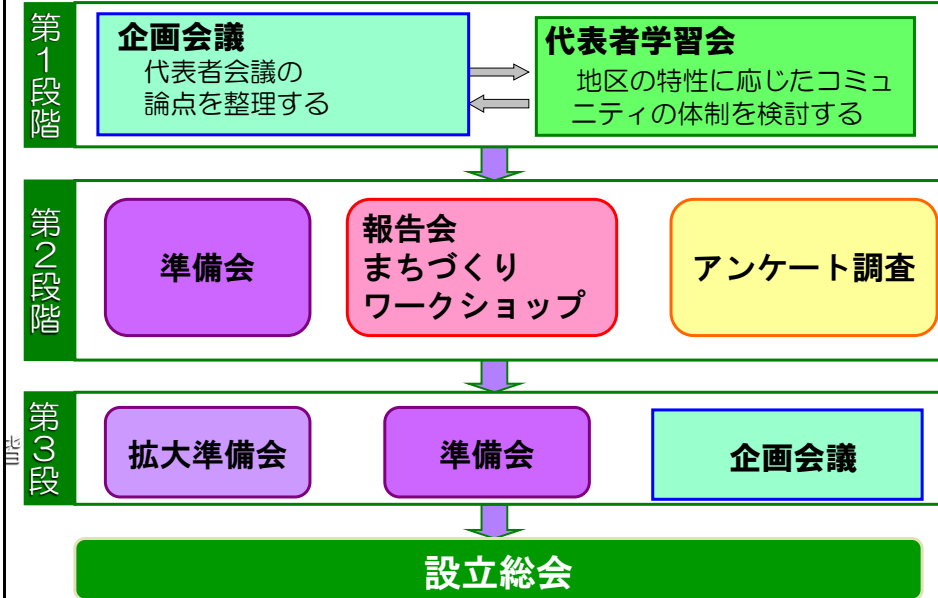
じゃあ…！

共創

筑紫野市 コミュニティ形成 山家地区の取り組み



全体構成



代表者学習会の展開

市の地域コミュニティ構想

山家の魅力と課題の確認

評価高い

- 「自然・環境」 緑豊かな自然
- 「文化・歴史」 伝統行事

評価低い

- 「生活基盤」 道路整備
- 「安全安心」 防災体制

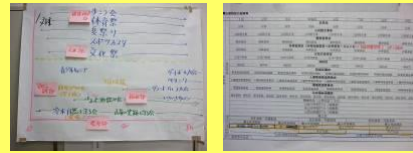


既存団体の確認

既存の組織体制の確認

既存活動の確認

- あったら良い活動



課題を解決するために必要な
新たな校区の**体制イメージ**の共有

企画会議と代表者会議の構成

企画会議①

企画会議②

平成22年6月3日(木)

企画会議③

平成22年6月28日(月)

企画会議④

平成22年7月7日(水)

企画会議⑤

平成22年8月9日(月)

企画会議⑥

平成22年8月18日(水)

第1回 代表者学習会

平成22年5月24日(月)

- 事業内容を把握する

第2回 代表者学習会

平成22年6月7日(月)

- 現状の活動・団体を知る

第3回 代表者学習会

平成22年7月13日(火)

- 地域の課題を知る

第4回 代表者学習会

平成22年8月30日(月)

- コミュニティ運営協議会の体制を考える

■第1回 コミュニティ形成を確認する



■第2回 山家の団体

	1区	2区	3区	中央区	6区	7区	8区	9区
校 区 全 体 団 体 等	区長会							
	公民館主事会							
	開発委員会							
	体育振興会（体育指導委員+体育委員1又は2名）							
	女性代表者会							
	消防団							
	財産区議会							
	人権啓発推進委員会							
	環境推進委員会							
	社会福祉協議会							
	農業委員（山家校区で3名）							
	山家小学校PTA・筑山中学校PTA・山家幼稚園PTA（保護者）							
	商工会							
	山家の史跡を守る会							
各 区 共 通 区 独 自	民生委員・児童委員		民生委員・児童委員		民生委員・児童委員			
	青少年指導員	青少年指導員	青少年指導員	青少年指導員	青少年指導員	青少年指導員		
	西山クラブ	老人会	老人クラブ	老人クラブ	老人クラブ			
				子ども会		子ども会		
	自然を守る会							

第2回 山家の活動

	1区	2区	3区	中央区	6区	7区	8区	9区
校区全体	体育祭							
	スポーツフェスタ							
	歩け運動							
	文化祭							
	夏祭り							
	敬老会							
活動区独自	山家宝満宮							
	祇園祭り					祇園祭り		祇園祭り
	おぞ	おぞ	ほうけんぎょう	ほうけんぎょう		おせがき		
	寝手神社	寝手神社						
	おこもり	おこもり	おこもり					
		よど		よど				
		大行事						
	養冠神社祭礼				山家岩戸神楽			
	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン	いきいきサロン
		花見	花見		花見			花見
				月見会				観月会
	新年会							
	西山会(ゴルフ)					グランドゴルフ		
			通学路下草刈り			河川愛護		
			子ども夏祭り			フェスタ祭り		

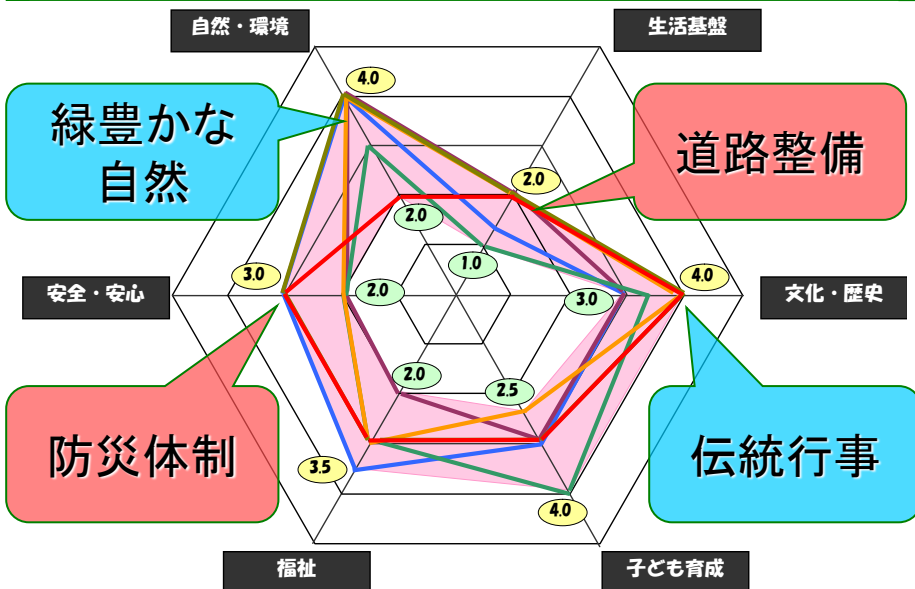
実行委員会形式の活動体制



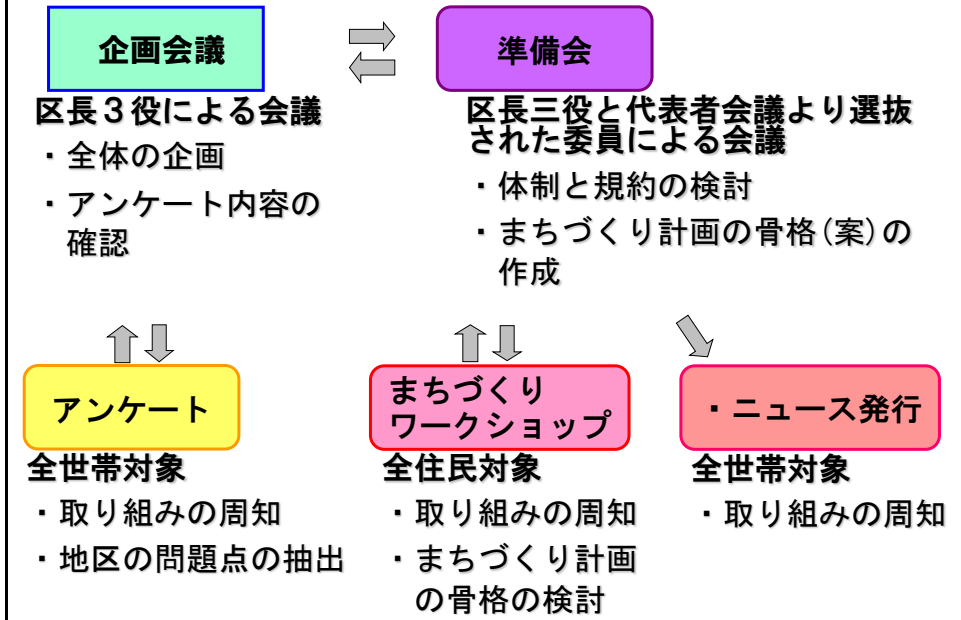
■第3回 山家の課題を知る



■山家の評価



第2段階：今後の進め方（会議の役割）



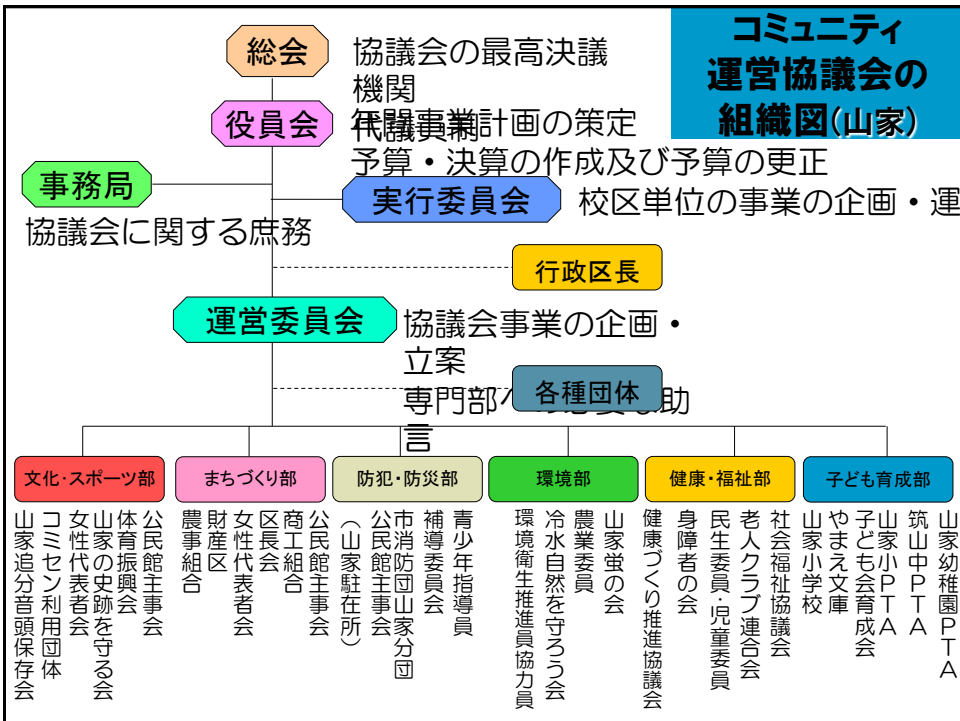
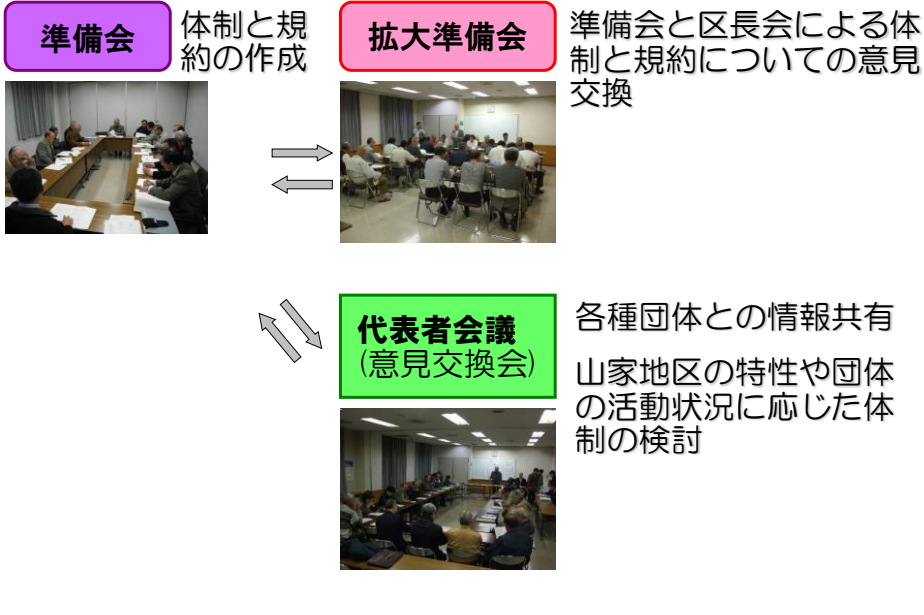
準備会

■準備会の目的

- ・協議会の組織、運営のあり方などについて検討し、体制（案）を作成する。
- ・透明で公正、公平な協議会運営を行うための協議会規約（案）を作成する。
- ・安全で安心なまちづくりを行うための、まちづくり計画の骨子（案）を作成する。



第3段階：設立総会に向けて



専門部の事業計画と予算の検討



文化・スポーツ部



まちづくり部



環境部



防犯・防災部



福祉部



子ども育成部



6つの専門部に分かれて、事業計画(案)と予算(案)を話し合う。

設立総会(山家)

